

# 玉手山学園広報

## まもなく平成24年(2012) 70 学園創立 周年

ようこそ玉手山学園へ  
いま学べる好機、責任、そして喜び  
「ありがとう」を大切に



理事長 江端 源治

### ようこそ私学、玉手山学園へ 建学の精神「感恩」

今春は去年より3日早い3月15日に、学園一番桜（勾玉橋西側）が開花しました。今年も変わらぬ美しい学園桜を迎えられ、新しい学生・生徒・園児たち、そして教職員のみなさん、「ようこそ玉手山学園へ!」、ご入学・ご着任おめでとうございます。わたしたちの学園は私立学校（私学）です。日本には古くから、朝廷や幕府や藩でもない一個人が、世のために尽くす人を育てたいと、情熱を燃やし開かれた私塾がたくさんあり、日本を動かした多くの有為な人材を育ててきました。日本は私立学校の国なのです。大学の77%が私立大学であることなど、今も私学は日本の「公」教育の大きな一翼を担っています。その私学の最大の特長、誇りは「独自の建学の精神（教育理念）を有し、個性豊かで多様な能力をもった人間を育成す

No.63 春号  
2010年5月25日  
総合学園広報誌

### 建学の精神「感恩」

人間のおよび得ない存在への畏敬の念と、生かされてある不思議を原点に、人はみな有形無形の数々の恩恵を享受し今日の自分がある。この偉大なばかりに目覚め、深い感動と感謝の念から発する情熱をもって、人の幸せを願う行動するとき、われわれは社会に貢献することができる。

多くの「ありがとう」に出会い気づき、感動・感謝の行動から、また新しい「ありがとう」が生み出されていく。

る。」ことにあります。わたしたちの学園建学の精神は「感恩」です。我々は、人生において多くの「ありがとう」に出会い、何の、どうして「ありがとう」なのか、に気づき、その感動・感謝の行動から、また次の新しい「ありがとう」が生み出されてきます。この精神が、本学園のすべての教育研究活動の根本にあります。わたしたちの学園で、様々な「ありがとう」と巡り合い、また多くの「ありがとう」を生み出していき、そんな豊かな学園生活を送り続けてほしいと願っています。学生・生徒・園児そして教職員の皆さん、私たちは誇れる私学人です。

### 若者は未来社会の宝物

社会全体で若者の学びを支える  
いま学べる好機、責任、そして喜びを

私は入学式で、「21世紀の幸せな未来を作り上げていくのは、今ここに居る君たちです。」と申しました。すべての意志あ

る人が質の高い教育を受けられる国、子育てや教育は未来への投資として社会全体で支えていくものです。そのために多額の公金が教育に投資されています。良質の教育によって、高い教養と豊かな心が育まれ、そして次世代へ受け継がれ幸せな社会が拓かれていきます。この尊い営みを決して絶やしてはならず一層高めていかねばなりません。学生・生徒・園児のみならず、いままさに素晴らしい環境、「学べる好機」にあります。それは社会全体、そしてみなさんの保護者からの素晴らしい贈り物です。みなさんには当然、「学ぶ責任」もあります。そして何より皆さんには「学ぶ喜び」をぜひ実感してほしいと思います。「学べる好機、責任、喜び」を自分の言葉で表現し、自覚してください。「なりた自分」の実現に向けて、これ以上ないくらい、一生懸命勉強に取り組んでみてください。そして新しい自分の力、姿に目覚め

てください。若者は未来社会の宝物です。教育人、私学人、学園教職員であるわれわれは、その若者たちを育てる大きな責任と喜びがあります。

### 人格を磨こう

高い志、笑顔、あいさつ、  
心やさしいマナー

一生涯を通じて大切に続ける

「人格を磨き続けましょう。」難しく考えることはありません。高い志、笑顔、あいさつ、心優しいマナーを大切にすることです。これは一生涯を通じて大事なことで、大人もまったく同じことです。志、夢を語るその目は輝いています。心が沈んでいるときでも笑うから、あいさつをするから、人に優しくするから、心が和み満たされます。豊かな心・人格は人間社会の基盤であり、そのうえで初めて知識や技術の習得が一層活かされてきます。われわれの社会は「人の背中を見て育ち、次は自分の

背中が見られて」豊かな心を伝えていきます。「高い志、笑顔、あいさつ、心優しいマナーあふれる学園」、夢が語り合える学園、そんな学園カラーを創っていきましょう。

やれやれやれー！

We can do, if we will.

この3月、身体にハンディを持ちながら、周りの皆さんの支えに感謝し、しっかりと努力・学業に励み、社会人として新たなスタートをきった本学大学生がいました。また、専門学校では今年もPT、OT国家試験100%合格を達成しました。学生たちの目標達成に向けたひた向きな努力、そして教職員の指導、支援に敬意を表します。夢・志の実現に向けて歩み続ける日々がいかに素晴らしく素敵なものか。そんな自分を好きになっただけです。豊かな学園生活を送るために、「やればできる！」の気概をいつも忘れず持ち続けましょう。われわれ学園教職員も同じこと、そして一生涯を通じて大切なことです。

「We can do, if we will.」



## 学長就任挨拶

関西女子短期大学

学長 祖父江 鎮雄

「感謝」の精神を体して、日夜、学生のため、学園のためとの思いで活躍の皆様には、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。私は、本年4月1日付にて、関西女子短期大学の学長に就任いたしました。本学に着任いたしました8年という歳月が経過いたしました。浅学非才の持主であり、責務の重さを感じるとき身の引き締まる思いであります。

短期大学を取り囲む環境は極めて厳しく、短期大学の高等教育における役割は終わったとの声も聞かれますが、本学は昭和41年創設以来今日まで、教養教育にとどまることなく、終始専門知識と技術を伝授し、いわゆる職業人として活躍し続ける人材を輩出し、社会から高い評価を受けて参りました。

最近の高校生の進学動機と進学先決定に最も寄与するのは、どのような勉強で、どのような資格が得られるか、また、どのように就職出来るかでありま

す。このような社会のニーズに本学の教育方針は完全に一致しており、本学は永遠に不滅でありましょう。今後本学に問われるのは、いかに学生に満足される教育が展開出来るか否かであり、その一点に本学の将来はかかっていきます。それには組織だった教育が必要であり、組織



## 校長就任挨拶

関西福祉科学大学高等学校

校長 森本 吉是

が強くなるには、一人一人の構成員が強くなり、その上で組織を考え組織として行動することにより、初めて組織力は向上するものです。

私が、学長という重責を担うことになりましたことを人は「奇跡」と言います。今日までの人生を振り返ったとき、私の人生は、「幸運」の連続であったとつくづく思います。

「幸運」の最たるものは、私を取り囲む人に恵まれ続けてきたことであり、「感謝」の一言であります。

学生諸君は、すべて、人に役立ちたい「夢」を持つ

私は今年度4月より関西福祉科学大学高等学校長に就任いたしました。森本吉是でございます。どうぞよろしくお願い致します。

私は本校に赴任いたしましたから30有余年、体育科の教員として授業をはじめ様々な場面で

た学生ばかりであります。学生諸君が、専門知識と技術に身につけ、その過程で、「感謝」の精神を体し、人は人にかされ、人は人の為に生きるを日常生活で、体現してくれる人材に成長されることを願っております。

学生は先生である、学生から学ぶをモットーとして過し、学生とともに成長することを念じ、45年の歴史を有する短期大学学長として、過ごさせていただきますと思います。学園の皆様には、ご協力、ご支援、ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

校で育った私だからこそできる事を実現させようと考えております。それは、生徒一人ひとりの夢の実現に取り組み「人の幸せを願う豊かな心」を育み、社会に貢献できる人材を育成するという学園の教育理念を高等学校でも明確に打ち出していることという事です。本学発展のためにも「心豊かな教育」をより充実させることで恩返しをしたとと考えております。

微力な私ではありますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



# 入学状況

## 大学・大学院

### 【新入生の入学は506名】

今年度は509名の新入生を迎えました。学部生469名（1年生423名、3年次編入生46名）、大学院生29名（博士後期課程4名、博士前期課程及び修士課程25名）、専攻科生11名です。ここ数年受験生の大学選択時期が早期化しております。本学では早期に受験生を確保する為、5月から8月までを重点時期と考え、在学生や教員の協力を得てオープンキャンパスを増やし、本学への受験志向を高めてもらえるよう努力しております。また、2011年4月から、関西医療技術専門学校から発展的移行する新学部として保健医療学部（仮称）リハビリテーション学科（仮称）理学療法専攻（仮称）、作業療法学

専攻（仮称）の設置を構想中です。さらに奨学金制度も充実させていく予定となっておりますので、新しい関西福祉科学大学としてさらに受験生の確保に努めていきます。

また、従来通り早期合格者には、大学生活を迎えるにあたっての疑問や不安を解決し、「大学で学ぶ意欲、意識」を改めて高めてもらうことを狙いとして、入学までの期間に入学前教育を実施しております。

入学された学生をいかに育て、いかに卒業させ、いかに就職させるかが本学の命運を握っていると考えます。積極的に本学の学びと研究、他大学との違いの広報に努め、目的意識を持った学生の確保に向けて邁進していく所存です。学園関係者の皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

### 短期大学

#### 【入学生は269名】

今年度は269名の新入生を迎えました。保育科92名、保健科89名（養護・保健コース38名、保健科医療秘書コース51名）、そして歯科衛生学科に88名です。短期大学希望者の志願決定時期はますます早期化しております。5月からスタートしたオープンキャンパス内で関西

女子短期大学の魅力を伝えるとともに、出願比率が高くなってきたAO入試について十分理解をしていただけるよう広報しています。また、本年は新たな奨学金制度の制定や、「関女・夢クラブ」といったオープンキャンパス参加者向け会員制度も発足させ、さらなる入学予定者確保に努めています。さらに、2011年4月から、関西医療技術専門学校から発展的移行する新学科として医療秘書学科（仮称）医療秘書コース（仮称）介護福祉コース（仮称）を開設予定です。

そして従来通り、早期合格者には入学までの期間に、ピアノ個別レッスン・感想文・手紙作成などの入学前教育を実施しております。

入学した学生一人ひとりの満足度を上げ、目標する就職ができるよう良質の教育サービスを提供することが責務でもあると考えております。明確な目標・目的を持った学生の確保に向けて邁進していく所存です。学園関係者の皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

### 高等学校

#### 【入学生は186名】

今年度入試、高等学校への志願者数は専願者数129名

（昨年度より3名増）、併願者数1156名（同61名増）で、183名の新入生（特別進学Iコース14名、特別進学IIコース106名、総合進学コース63名）を迎えることができました。

志願者が増加したにもかかわらず入学者が減少したことは昨年度の政権交代に伴う高等学校授業料の無償化や公立高校の募集定員が増えたことが生徒募集に大きく影響したことは言うに及びません。この厳しい入試状況の中、20名を超える本校卒業生の子息女の入学があったのは本校教育の成果と言えるのではないのでしょうか。

公立・私立を問わず各高等学校が自校の特色を大きく打ち出している昨今、医療福祉系の総合学園という特色をアピールするだけではなく、建学の精神「感恩」を基本とした教師と生徒がまっすぐに向き合えるコミュニケーション重視の教育スタイル。特に生徒一人ひとりの気持ちにしっかりと寄り添い、学習面はもちろんのこと心のサポートもできる高等学校。入学生一人ひとりの満足度を上げ、目標とする進路達成のできる「笑顔の溢れる活力のある高等学校」であることを積極的に打ち出していきますので、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

### 専門学校

#### 【成功裏に終わった本年度の学生募集】

本年度、専門学校は117名の新入生を迎えることができました。昨年度の入学者105名に比べ、11%の増加といううれしい結果となりました。

学科ごとの状況は、診療情報管理学科は43%、同専攻科は50%、介護福祉学科が44%増と定員からは大きく乖離するものの大幅アップとなりました。また作業療法学科も11%増で定員を上回る入学者数となりました。これらの学科はここ数年の間、学生募集に非常に難渋してきただけに良好な結果を出すことができました。また、理学療法学科については未手続き、入学辞退が発生したため入学者数は前年比一名減という結果となったものの大きな落ち込みではなく許容できる範囲内であったと考えます。

次に志願者数という視点から見ると全学科で増加しております。2007年度（平成19年度）入試以来の志願者数となりました。学科ごとの状況では診療情報管理学科・同専攻科は入学者数同様43%・50%の、介護福祉学科は39%の大幅増となりました。介護福祉学科については本年度の入学が介護福祉士国家資

格を無試験で取得できる最終年であったことも大きな要因であったと思われる。リハビリテーション分野の二学科では理学療法学科が5%の増加、作業療法学科は第二志望を含めた比較で4%、第一志望のみで比較すると9%の増加となりました。

ここ数年の間、本校設置分野である医療・福祉分野の志望者減、同分野での大学志向の高まりなど大変厳しい環境におかれ志願者数の減少に悩まされてきました。一転して本年度は深刻な雇用環境下での「資格」に対する再評価、先行きが不透明な経済環境の中での「学費」に対するよりシビアな見方、また介護福祉士修学資金制度や高等技能訓練促進費など負担軽減のため行政が実施する事業の拡充などいくつかの要因が重なったことは無論のことですが、重点校三回訪問を柱に高校訪問回数延べ630回達成、ホームページの頻回更新などをはじめ、専門学校全教職員が一体となって募集活動に努めた結果であると自負しております。

なお、入学者の36%が大学卒業者を含む既卒者であったことは、従来から当専門学校の特徴の一つであり、長年に亘って本校の教育力とその評価を陰に陽に支えてこられた関係各位のお

力添えの賜物と考えられ、この場を借りて皆様へ御礼申し上げます。

# 進路状況

## 大学・大学院

大学の平成21年度卒業生の進

### 平成21年度 進路状況 (平成22年4月22日現在)

	全 体	社会福祉学科	臨床心理学科	健康科学科	福祉栄養学科
卒業生	669	356	136	104	73
就職希望者	581	324	103	91	63
就職決定者	537	307	83	86	61
就職決定率	92.4%	94.8%	80.6%	94.5%	96.8%
進学希望者	57	18	29	9	1
進学決定者	46	11	25	9	1
進学率	80.7%	61.1%	86.2%	100.0%	100.0%
その他	31	14	4	4	9

路状況について報告いたします。平成21年度は、日本経済不況の煽りを受け、就職の氷河期と言われる中、学生の頑張りや教職員のサポートのもと、何とか高い就職率を維持することができました。

平成21年度の卒業生は670名、うち就職した者が517名、進学した者が46名でした。

大学全体におきましては就職内定率(就職希望者に対する就職決定者の割合)は、就職希望者581名に対し537名就職(就職率92%)となりました。

社会福祉学科では、就職希望者324名に対し307名が就職(就職率95%)、臨床心理学科では、就職希望者103名に対し83名が就職(同81%)、健康科学科は就職希望者91名中八六名が就職(同95%)、福祉栄養学科では、就職希望者63名中61名が就職(同97%)いたしました。

大学院につきましては、22名中19名が修了後の進路を確定しました。

進学につきましては、46名中7名が関西福祉科学大学大学院へ進んでいます。

次に国家試験の合格状況ですが、社会福祉士123名、精神保健福祉士20名の合格者数となりました。

社会福祉士の合格者数につき

ましては、全国200大学中、第五位(西日本では第一位)となりました。

管理栄養士の合格者数は48名となり、合格率が76%で、前年より9%アップとなりました。

また教員採用試験(公立・養護教諭)では、8名が合格いたしました。

平成22年度も、教育後援会の協力のもと、合格者のアップを目指したいと思っております。

## 短期大学

短期大学の平成21年度卒業生の進路状況について報告いたします。

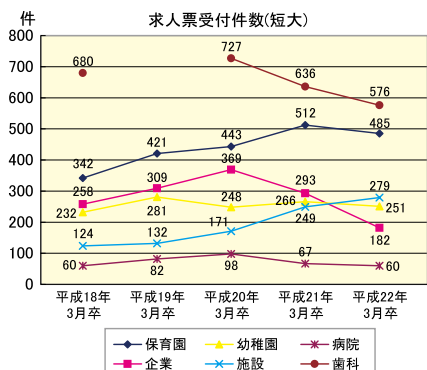
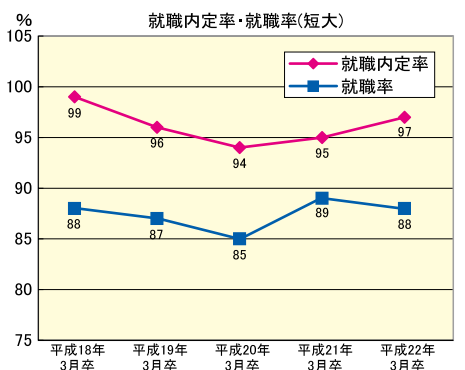
平成21年度の卒業生は311名、うち就職した者が275名、進学した者が15名でした。

就職内定率(就職希望者に対する就職決定者の割合)は97%、就職率(卒業生総数に対する就職決定者の割合)は88%となりました。

各科の就職内定率と就職率は、それぞれ保育科が100%、86%、歯科衛生学科が95%、94%、養護保健コースが98%、89%、医療秘書コースが91%、83%でした。

進学については15名中3名が関西福祉科学大学へ進んでおります。

また、本学への求人について



ですが、総数1833件と、昨年同様多くの件数をいただくことができました。

今年度も引き続き、教員と職員の協力関係を築き、学生への就職支援を行い、経済不況に負けることなく、就職率の向上に努めてまいります。

## 高等学校

今年度の進学状況は、卒業生



143名に対して延べ数ですが、関西大学6名、京都産業大学6名、近畿大学7名、龍谷大学6名、摂南大学3名、神戸学院大学2名、追手門学院大学7名、桃山学院大学9名、京都女子大学3名、武庫川女子大4名、同志社女子大2名、京都外国語大学1名、関西外国語大学2名などでした。学園内進学者の状況は併設大学11名、併設短期大学22名、併設専門学校12名で計45名の合格者数でした。

コース別で見ると特進Ⅰコースが在籍11名に対して一般入試を中心に48名の4年制大学への合格者を出した。特進Ⅱコースの上位クラスでも在籍26名に対して一般入試を中心に近畿大学や京都産業大学など4年制大学への合格者を出した。また他の特進Ⅱコースや総合進学コースでも、4年生大学を筆頭に全員が進学希望を叶えることが出来ました。

就職状況は全体で希望者3名(2.1%)、内訳は学校幹旋での就職希望者が2名、縁故就職希望者が1名でした。就職希望者全員が内定を勝ち取りました。

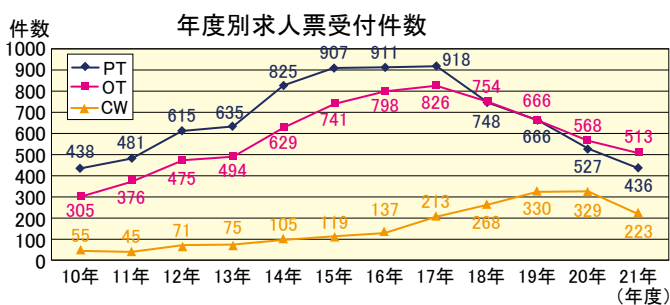
最近の本校の進学における傾向は、4年生大学受験でAO入試(18.5%)や指定校入試(13.7%)に頼ろうとする生徒より、公募推薦(42.7%)や一般入試

(25.0%)など学科試験に挑戦する生徒が増加していることや、ニートに繋がるような就職状況も含め、進路未決定者が激減していることなどがよい傾向としてあげることが出来ます。

実質的な今年度の4年制大学への進学者数は68名でした。内訳は、特進Ⅰコース9名、特進Ⅱコース58名、総合進学コース1名でした。また短期大学への進学者数は40名でした。内訳は特進Ⅰコース2名、特進Ⅱコース22名、総合進学コース16名でした。また専門学校(看護学校含む)31名でした。内訳は特進Ⅰコース0名、特進Ⅱコース13名、総合進学コース18名でした。進学率としては4年制大学48%、短期大学28%、専門学校(看護含む)22%でした。以上が平成21年度の高等学校の進路状況になります。

### 専門学校

平成21年度の就職内定率は99%。就職未定は一名でした。詳細は別表の通り。診療情報管理学科の進学二名は、専攻科へ。介護福祉学科の進学五名は関西福祉科学大学三年時編入です。併せて、求人票受付件数表も掲載いたします。



学 科 名	性別	卒業数	団体	特養	病院	老健	診療所	デイ	進学	未定	不希	就職率
診療情報管理	女	7			4				2	1		80%
診療情報管理	男女	1			1							100%
診療情報管理	男女	1			1							100%
介護福祉	男女	6	1	1	1	1			2			100%
介護福祉	女	13	3	1		4		1	3		1	100%
作業療法	男	7			6		1					100%
作業療法	女	19			12		2					100%
理学療法	男	14			13							100%
理学療法	女	13										100%
総 計		81	5	2	53	6	5	1	7	1	1	99%

本講座は、本学およびあけぼの会の精神科医、法律専門家、臨床心理士など職場メンタルヘルス関連の専門家が講師となり、基礎知識から事例検討までを体系的に教授し、企業においてメンタルヘルス推進の中心的役割を果たせる人材を養成することを目的としている。当日は企業の人事・労務担当者、産業保健スタッフなど36名が全国から(遠くは北海道や鹿児島から)参加した。各カリキュラムにおいては質疑やディスカッションが活発になされ、参加者の意欲の高さが覗えた。なお、二日間

## 第1回事業場内メンタルヘルス推進担当者養成講座開催

EAP研究所 副所長 長見 まき子

平成22年2月27日(土)、3月5日(金)の二日間にわたり、キャンパスポート大阪にて関西福祉科学大学EAP研究所と医療法人あけぼの会共催の「事業場内メンタルヘルス推進担当者養成講座」が開催された。

とも受講した参加者には本学学長名による修了証が授与された。今後も職場のメンタルヘルス推進担当者の養成に貢献できるように、引き続き定期的な開催を予定している。



メンタルヘルス推進担当者養成講座

# 学園トピックス

# 大学院連合メンタルヘルスセンター設立

健康福祉学部長 三戸 秀樹

大学院連合メンタルヘルスセンターが、2009年11月20日にNPOとして、関西福祉科学

大学、帝塚山大学、帝塚山学院大学の3大学院連合で設立された。EAP研究所を2004年6月に発足させた本学がフラッグシップ大学と位置づけ、オフィスは、大阪大学中之島センターに置き、3大学から補助金

を頂き、3年間で軌道に乗せ補助金なく展開してゆく予定である。

役員体制は代表理事に森下高治先生（帝塚山大学）が就任され、本学の関係者では、副代表理事に三戸秀樹、理事に平田まり・大野太郎・長見まき子、さらに監事として谷垣昭啓の諸氏が名を連ねている。

## 特別支援教育専攻科設置

教務部 井上 智

平成22年度より関西福祉科学大学では、従来の2学部4学科に加え、新たに特別支援教育専攻科が設置されました。

平成22年度の受講学生は専攻科学生11名、学部生3名、科目等履修生1名で、平日の夜間、土曜日のほか、サマースクールを利用して授業が行われています。

働きながら学ぶことができるということを含め、平日の夜間では交通の利便性のよい上本町ハイハイタウン内に新たなサテライト教室を設置することで、

受講生も安心して勉学に励むことができる環境となつていきます。

また、サテライト教室で過ごす時間を有効活用できるように、講義用デスク、チェアのみならず、ミーティングテーブルや教材機器等を備えた教室環境の整備も行っています。

今年度の受講生数については、やや少ないながらも特別支援教育に対する受講生の熱心な姿勢がサテライト教室を活気づけています。

## 博士学位申請論文公聴会、修士論文発表会開催

教務部 奥田 洋



平成22年2月17日に博士学位申請論文公聴会が開催されました。学位申請者は本学大学院社

武田先生、副査の太田先生、浅野先生はじめ博士後期課程担当の教員や大学院生からの質疑、応答が行われました。津田さんは、審査委員会による論文審査、公聴会、口頭試問を合わせた審議を経て、「博士（臨床福祉学）」の学位が授与されました。

また、同日には平成21年度修士論文発表会も院生会主催で開催され、大学院社会福祉学研究所臨床福祉学専攻博士前期課程・心理臨床学専攻修士課程の2年生が修士論文要旨の発表を行いました。大学院生ほぼ全員が出席し、朝から夕方まで発表が続きました。

## 学内学会が設立されました

社会福祉学部長 杉本敏夫

平成22年1月6日（水）に関西福祉科学大学総合福祉学会の設立総会が開催されました。当日は大学等の教員約60名、大学院学生11名の計71名が参加し、江端源治学長のあいさつから始まり、学会会則、役員を選任、事業計画、予算等について審議が行われました。

活動の推進に寄与すること」が目的とされています。また、本会の会員は、大学学長、副学長および専任教員、本学大学院生、賛助会員から構成されています。

この総合福祉学会は、「社会福祉関連諸科学分野における学術研究、教員活動および社会貢献

事業としては、機関誌、学会報の発行、学術講演会、学術シンポジウムの開催等を行います。が、平成21年度は機関誌と学会報の発行を行うこととしました。さらに、当日は総会終了後に懇親会が行われ、約47名が引き続き



き参加して、学会の設立を祝いました。

学会の今後のますますの発展が期待されます。



# 食育セミナーをはじめて 開催しました



福祉栄養学科 小松 洋子

3月に本学園幼稚園の保護者の皆様にお越し頂き、福祉栄養学科では食育セミナーを開催しました。短大5号館に増築された新調理室を会場とし、「生活習慣が子どもの脳力を育てる」をテーマに、兵庫県立リハビリテーション中央病院子どもの睡眠と発達医療センターの田島世貴先生にご講演と「朝食に最適・超簡単料理」と題して学科の澤田崇子・有泉みずほ両先生の指導のもと実習と試食を楽し

みました。管理栄養士をめざして猛々勉強中の学生（3年生）は食育リーダーとして調理の補助、またお母さん方からの質問に対応するなど緊張の中にもうれしい充実した時間となりました。あか組さんのお母さんは「睡眠や食事だけでなく、外で遊び、人とふれあうことが成長の上で大事なんだなと思いました。子どもだけでなく親自身も、きちんと生活習慣が身につくといないと、子どもも出来ないと思うので、子供と一緒に楽しみたいので、子供と一緒に楽しみたいので。」と感想を寄せて下さいました。いろいろ助言いただきました幼稚園の先生方に感謝申し上げます。

# 高塚桂子先生の ピアノリサイタルを鑑賞

法人本部経営企画室 松田空美

3月14日（日）、イシハラホールにて社会福祉学科の高塚桂子先生が出演する、「2台のピアノによるデュオリサイタル」が開催されました。

今回のプログラムにはフランス人作曲家による華やかで独創的な曲目が並び、客席は開演前から演奏を心待ちにする人々で賑いました。

高塚先生と共演の元木いずみさんは姉妹という間柄でもあり、曲目によって自在に表現を変え、巧みさ・繊細さ、息のあった演奏が聴き手の想像力を豊かにし、ひとときの浪漫飛行を楽しみました。

アンコール曲を含め、9曲の

見事な演奏を披露された高塚先生らに会場からは大きな拍手が送られました。

高塚先生のピアノの調べは多くの学生・教職員に感動と安らぎを与えてくれました。高塚先生の今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。



# 第3回 関西医療技術専門 学校学術大会 開催



春まだ寒い3月7日、第3回関西医療技術専門学校学術大会が開催されました。参加者は、卒業生、在校生、職員、一般も含め約250名と大盛況でした。第3回目となる今回の学術大会も前年同様、午前の部に口述発表、午後の部に教育講演が行われました。口述発表では、卒業生や実習でお世話になって

います特定研修施設のセラピストを中心として、13演題の発表がありました。今回の演題では、就労支援や精神科リハビリテーション、スポーツ外傷と幅広い発表内容となり、色々な分野での卒業生の活躍を知ることができました。

また、午後からは、シドニーパラリンピック日本代表、車椅子バスケットボールチームキャプテンの根木慎志さんをお招きして、「素敵に生きよう!!」と題して「素敵に生きていく」と題した教育講演を行いました。根木さん自身の事故の体験から素敵な人との出会い、日本代表に至るまでの道のりなどが皆さんの貴重な経験談を聴くことができました。この講演を聴き、明日への元気をもらいました。



# 教育講演会「夢を諦めず継続するために」 〜ポジティブな生き方に気づくことの大切さ〜 チャンスはピンチ！ピンチはチャンス！

幼稚園 大西英子

阪神タイガースの現打撃コーチの和田豊氏をお迎えし、今年一月十八日、本園保護者会主催の教育講演会を開催しました。

和田氏は現在、人気チームの一軍打撃コーチとは言え、氏のご活躍は一昔前。参加対象は、現役時代をあまりご存知ない世代の皆様や大学生たちです。はたして多数の参加を頂けるものと内心心配しておりました。しかし心配をよそに、当日は近

隣からも熱心なタイガースファンの皆様にもご来場頂き、賑やかな会場となり嬉しく思いました。

歓迎イベントとして、まず年長組の園児の合唱でお迎えしました。和田氏も子どもたちの一生懸命な姿と歌声に感激され大変喜ばれておられました。

和田氏のお話は、氏の幼い頃の経験やスポーツを通して、①

挨拶や礼儀の大切さ、②感謝の心、③感動とは、感じたら即行動に移すこと…等、我が学園の建学の精神「感恩」と呼応するものでした。

コーチ業ではプロセスが大切。選手を育てるとは、決して目を離さず、見ていてやること。悩みきつてしまいう前、顔の表情が変わった時点で一声かける。そして何より、スランプを楽し

むこと。後は上がるしかないこの過程を覚えておくと次のスランプに活かすことができる。治療よりも予防が大切。…と次々と話される中で、金本選手のやんちゃぶりを面白おかしく紹介して下さったり、タイガースのアラフォー三選手の裏話を聞かせて下さったりと緊張の中にも笑いのある充実した内容でした。

最後に「失意泰然」どんな逆境にあってもやるべきことをやる。この言葉を残してお帰りになりました。

当日は学園関係の皆様にもご協力賜りましたこと、心より感謝申し上げます。



## 永年勤続表彰

法人本部総務部

平成21年度の永年勤続表彰式が去る1月15日に理事長室でおこなわれました。当日は理事長

より一人々に感謝状と金一封が渡され、ねぎらいと感謝の言葉がありました。表彰された方は次のとおりです。(敬称略)

勤続25年表彰

岩本道雄(高校)  
岩本茂美(高校)

勤続15年表彰

中村 勇(本部)  
井上 智(大学事務局)  
小林友美(大学事務局)  
熊谷英子(高校)  
溝口 哲(高校)  
小林 恵(専門学校)  
奥田美紀(本部)

